

昭和57年度 学位授与・単位修得論文一覧

[論文題目, 提出者氏名, (指導教官)]

昭和57年度 博士課程単位修得論文

商学研究科

- | | | |
|--------------------------|-------|---------|
| 近時西ドイツにおける2つの経営経済学(上)(下) | 渡辺 敏雄 | (田島 壮幸) |
| 消費者情報探索に関する一考察 | 青木 幸弘 | (田内 幸一) |

経済学研究科

- | | | |
|--|-----------------|---------|
| 公的年金制度の個人貯蓄への効果 | 鈴木 博夫 | (寺西 重郎) |
| 抽象的人間労働と価値 | 明石 博行 | (松石 勝彦) |
| 不均衡理論のミクロ的基礎 | 児玉 俊介 | (荒 憲治郎) |
| 多数決投票と非推移性 | 須賀 晃一 | (時子山和彦) |
| 社会主義経済における最適成長政策に関する一考察 | 長谷部勇一 | (関 恒義) |
| 米国「プレトンウッズ法」と「雇用法」の成立について | 牧野 裕 | (伊東 政吉) |
| 株式会社制度の体制的確立と信用制度の役割 | 松下 優 | (種瀬 茂) |
| 商品税に関する若干の考察——最適課税と税制改革—— | 青木 雅宏 | (大川 政三) |
| 清朝末期, 東三省地方権力についての一考察
——特に総督錫良の時期を中心に—— | 江夏 由樹 | (中川 学) |
| 前近代末期タイにおけるプライ(徭役)制度の解体過程 | Witit Sujjapong | (深沢 宏) |

法学研究科

- | | | |
|-------------------------------|-------|---------|
| オーストラリア外交と日本1945—51 (I), (II) | 菊池 努 | (細谷 千博) |
| 中国と「香港」問題 (I) (II) | 中國 和仁 | (細谷 千博) |
| 宇宙国際法における協議制度 | 中村 恵 | (皆川 洸) |

社会学研究科

- | | | |
|-------------|-------|--------|
| ファシズム期の農村対策 | 芳井 幸子 | (藤原 彰) |
|-------------|-------|--------|

ヘーゲルの宗教哲学	渡辺 景子 (岩崎 允胤)
アントン・パンネックとディーツンゲン哲学	針谷 寛 (良知 力)
存在論と論理学の新たな展開	太田 信二 (岩崎 允胤)
日本古代における国際関係	酒寄 雅志 (佐々木潤之介)
アトウッドとパーミンガム学派の政治経済学	西沢 保 (都築 忠七)
スラブ主義者 A・C・ホミヤーコフ研究	清水 昭雄 (都築 忠七)
主体=実体説におけるカントの位置	竹内 章郎 (岩崎 允胤)
労働組織の変革	倉田 良樹 (津田 真澄)
総力戦体制研究	額 厚 (藤原 彰)
キューバ砂糖産業の基本構造	長津 久子 (本田 創造)
革命期のウクライナ社会 ——1919年のボグロムと民衆——	黒川 知文 (阿部 謹也)
民衆宗教における救済思想の特質	神田 秀雄 (安丸 良夫)
昭和期における青年期教育の一断面	小林 平造 (藤岡 貞彦)
労働力商品の循環過程と資本・賃労働関係	内山 哲朗 (富沢 賢治)

昭和57年度 修士学位論文

商学研究科

コミュニケーションネットワーク分析	桜井 勝朗	(宮川 公男)
アメリカ初期静態論の特質	宮田 守	(森田 哲弥)
インフレーションの国際的な波及	小川 英治	(花輪 俊哉)

経済学研究科

相対的過剰人口の累進的生産に関する一考察	中山 孝男	(種瀬 茂)
「資本減価」の構造	植村 博恭	(高須賀義博)
合理的期待仮説とマクロ経済学	大野 健一	(塩野谷祐一)
マネタリズムとケインジアン	藤井 賢治	(美濃口武雄)
再生産表式と技術進歩	良永 康平	(関 恒義)
16世紀後半の英露関係に関する一考察	伊東 秀行	(渡辺 金一)
第一次大戦期から1920年代前半における 日本紡績(上)・(下)・(別冊)	籠谷 真人	(中村 政則)
多数決投票均衡とトップサイクルセット	新田 妙子	(石 弘光)
Japanese Managerial Practices: with refernce to Needs and Quality of Working Life	Jane Galla	(外池 正浩)

法学研究科

大陸棚境界画定論(Ⅰ), (Ⅱ)	黄 祥睿	(皆川 洸)
支配・従属会社間合併についての一考察——従属会社 少数株主保護の観点から——(上)・(下)	野田 博	(堀口 亘)
企業合併規則の研究	山部 俊文	(久保 欣哉)
19世紀ドイツ国法学と選挙権論	廣田 全男	(杉原 泰雄)
終戦期日本の国内政治と対外征策	井上 寿一	(細谷 千博)
大恐慌期における経済外交と小協商(Ⅰ)・(Ⅱ)	坂本 清	(細谷 千博)
アメリカのドイツ政策1944—48(上)・(下)	佐々木卓也	(細谷 千博)
西独の裁量学説の展開と現状 ——F. Ossenbühlの所説を中心として——	高橋 滋	(市原昌三郎)

社会学研究科

「赤い引揚」と1949年の政治状況	伊藤 悟 (藤原 彰)
注射による筋短縮症被害	後藤 隆 (浜谷 正晴)
シンハラ・ベラワの研究	足羽与志子 (長島 信弘)
丁玲文学の方法と展開	宮島 敦子 (木山 英雄)
ヴェイマル経済民主主義論の形成	臼井 英之 (菅 順一)
1848年革命におけるパリの労働者の実態	西岡 芳彦 (良知 力)
明末の天主教三柱石の天主教信仰について	葛谷 登 (木山 英雄)
ハインリッヒ治世期のドイツ中世平和運動	土浪 博 (阿部 謹也)
中期藩政改革論	柄木田文明 (佐々木潤之介)
The Tragic Vision Calminating in Shakespearens	
“Macbeth”	大村 昌彦 (増谷外世嗣)
身体と運動文化	鬼丸 正明 (川口 智久)
ハロルド・ラスキとイギリスの1930年代	小笠原欣幸 (都築 忠七)
社会主義経済の数量調整計画化モデル	田畑伸一郎 (宮鍋 轅)